

今日の1冊

# 江戸城の土木工事

石垣・堀・曲輪

後藤 宏樹 著

【著者紹介】

後藤宏樹（ごとう・ひろき）

熊本県生まれ。國學院大學大学院文学研究科考古学専攻修了。  
東京都立大学プレミアムカレッジ非常勤講師。

【内容】

近世最大の城郭江戸城。家康から家光までの築城に、土地造成、石垣、土塁、水堀や惣構など、土木工事(天下普請)の側面から迫る。技術的推移や工事体制の変化、城下町の整備、災害を通して再建される姿も描き出す。

